

◎司会進行 事務局

【事務局／開会】

- 本日の会議内容、会議資料、委員の出席状況を説明
会議の進行を会長へ

【会長／挨拶】

- 会長より挨拶

第3回の検討推進会議となり、通常だと1カ月くらい間を置きながら進めていく内容の濃い会議なのだが、国が求めている議論の成果が予算に直結しているという事もあり、事務局にはこの期間で今日の素案を練っていただいている。

金沢新幹線開通に当たり、現地の関係者に話を伺うと、一市町村が頑張っただけではうまくいかないという事を話していた。また、石川県が熱心に予算をつけているということであった。九州新幹線でもそうだが、県（道）レベルで熱心な取り組みがあったとのことである。

道の方にも、ぜひ総合戦略を含めて新幹線の駅ができるこの街に十分な政策的な目を向けていただきたい。

◎司会進行 会長（会議終了まで）

【会長／議事】

- (1) 骨子案・一次素案に対する各委員からの意見について
○事務局から、資料1に従い説明

発言者	発言内容
会長	総合戦略における取組内容（案）は、どの段階で、どのような形で示されるのか。
事務局	この部分については、最終案を示す段階で、最終案の内容を全部書き込んだ上で説明していきたい。

- (2) 北斗市総合戦略〔二次素案〕における数値目標及びKPIについて

- 事務局から、資料2、資料3に従い説明
説明後、目標ごとに委員から質疑応答を受けた。

〔基本目標1〕について

発言者	発言内容
会長	基本目標1（2）観光入込客数は、どのように算定されているのか。
事務局	観光入込客数は、年間集計し公表されている。 実数をカウントしているわけではなく、イベントや観光スポットに訪れた方の数を集

	<p>計している。</p> <p>ホテルであれば実際に年間の利用者数の報告、イベントでは主催者発表しているものがある。</p> <p>北斗市においては、観光拠点がないため、限られた要素の中で集計されたものとなっている。</p>
委員	<p>新駅周辺に確定した企業は何社ほどあるのか。</p> <p>新駅の中に入る企業なのか、それとも周辺に立地するのか。</p> <p>土地の広さを考えると、まだ足りないような気がしている。</p>
事務局	<p>現在10社、約55名が見込まれている。</p> <p>新駅の周辺には、レンタカー、タクシー、レストランが決まっている。</p> <p>駅の中に入る観光交流センターには、観光案内所、アンテナショップ、軽食施設が決まっている。</p> <p>そこに雇用される人数として計上している。</p> <p>駅前の区画整理を行い、現在利用が決まっているのは約40%である。</p> <p>ホテルについては平成27年度中には完成しないため、平成28年度以降のものとして考えている。</p> <p>その他の場所の土地の利用についても、協議が進められているものもある。</p>
委員	<p>市内の宿泊者数を平成31年に現在の3倍くらい収容できるような宿泊施設が建てられる可能性があるのだろうか。</p> <p>現在の北斗市内の年間宿泊稼働率はどうなっているか。</p>
事務局	<p>現在は約2万8千人だが、今年中に着工予定のホテルが約100室程度の規模であり、平成28年度中にオープンする。</p> <p>それと合わせ、目標とするともう一つホテルを誘致したいという考えがある。</p> <p>これらを踏まえ、9万人という目標を設定した。</p> <p>稼働率については持ち合わせていない。</p>
会長	<p>現状の稼働率を考えた場合、新たに建てられる100室のホテルを踏まえた上で年間9万人の目標を達成できるのか。</p>
事務局	<p>市内の宿泊施設の利用目的は様々であり、現時点で大規模のものはないという現状である。今後できるホテルは、観光客その他含めて対象となるので、今までの宿泊施設と稼働率という形で比較することは難しいと考えている。</p>
会長	<p>基本目標1（5）の二次交通の部分で、補助対象路線に関しての6.3人という算定ということだが、一般的には理解しづらい数字と考えている。</p> <p>この数字を維持すること自体が大変な目標と思っているが、現状維持とした理由は。</p>
事務局	<p>函館バスの路線となっており、新幹線開業に伴い、北斗市エリアを通っていくものに変化はない。</p> <p>新駅に1日100便接続という報道もあったが、この大部分は、これまで通っている路線が新たに駅に入ってくるというものであり、便数自体が増えることはない。</p> <p>便数が増えない中で、新幹線開業に伴い若干の効果があるのではないかと期待を持っている。</p>

	赤字路線のバスの乗車密度を維持する、乗客の利用を促進していきたい。
委員	基本目標1（3）一次産品直販施設販売額の根拠はどのようになっているか。 また食育、地産地消ということについて実施してきているのだが、この総合戦略では欠落しているのではないだろうか。
事務局	一次産品直販施設販売額については、平成26年度は直売所の実績から算定している。 なお、平成31年度については、直売所の伸び分及び水産物直売施設の販売目標から算定している。
事務局	食育、地産地消については、基本目標1（3）や一般的な農業振興につながると思っている。 ただ、基本目標1については、新幹線開業という事からくる、ひと・ものなどをあらゆる産業分野に波及的に効果をもたらすような部分である。 総合戦略に書かれているものについては、何を重点的に、表に出していくのかという事を記載している。 今後、案に向かって既存の取り組みなどまとめていく際には、参考にさせていただきたい。

[基本目標2] について

発言者	発言内容
会長	民間の移転とはどういうものを想定しているか。
事務局	具体的にどの企業というものはないが、北斗市に支店あるいは支所等がある、首都圏に本社のある企業に対して、働きかけをこれからしていく。 目標として、1件でも誘致をしていきたい。
委員	新聞報道で、北海道の機関が移転すると書かれていたようだが、これが含まれるのか。
事務局	報道されていたのは、政府機関の農林水産省の研修施設ということであり、道の施設ではない。
委員	茂辺地・石別地区の交流人口数が9万人と出ているが、どのように計算しているのか。 ローマへの道は広がりを見せているようだが、駐車場がないという事が不便という声を聞いている。 かつて、当別は海がきれい、海水浴が盛んであった。 これを夏場に活用できれば、人を呼び込むこともできるのではないだろうか。 茂辺地パークゴルフ場は、利用者数が多く、さらに奥にキャンプ場もあるのだが、他の施設に比べると、PRが不足しているのではないか。
事務局	目標は、地区の人口ではなく、交流人口という事で、地区に訪れた方の人の積み上げとしている。 積み上げの考え方は、トラピスト修道院55,290人、湯の沢水辺公園4,815人、ローマへの道冬物語1,000人、さけ祭り5,000人、茂辺地パークゴルフ場12,299人となっている。 地域の資源として、並行在来線の利用促進を合わせた地域振興をすることにより、イ

	<p>ベントも含めて誘発されてこの地域に訪れる方を増やしたい、またいさりび鉄道の利用者の増加にもつながると考えている。</p>
事務局	<p>ローマへの道は、地域住民の思いから始まり、夏は今年から中止とし、冬一本とした。駐車場については少ないという指摘もあり、駅裏やコロニーなどの土地を借りたうえで、バスのピストン輸送を行ってきている経過がある。</p> <p>駐車場の整備については、修道院の所有土地であり、イベントのためだけに整備するという事については難しい。</p> <p>海水浴は、地域の子供たちのための遊泳場を開設している。</p> <p>一般に開放できる海水浴場は、駐車場の確保を含めて難しい。</p> <p>水辺公園のキャンプ場については、観光サイドでのPRをしているものもある。</p>
委員	<p>茂辺地・当別地区については、高齢化現象、人口減少が顕著であるものの、素晴らしい自然があるという事で、アート特区（芸術特区）のようなものを設けてはどうか。</p> <p>雇用を増やすためには、施設の整備というものも必要ではないか。</p> <p>失敗を恐れず、いろいろなことを提案しながらやっていくべきでは。</p> <p>観光商品という面で、北斗市も様々なものを持っているので、アピールしていきたい。</p> <p>さらに水族館や道の駅の整備により、全国にPRできる。</p> <p>きじひき高原にメロディロードが整備されたが、これから車で来る人が増えると、事故や騒音、排気ガスなどにより色々な影響が出かねないため、ロープウェイの整備も考えることができるのでは。</p> <p>新幹線開業により、日帰りのお客さんが増えることが想定される。</p> <p>北斗市は、単発的な観光の受け皿として準備していく必要があると考えている。</p>
事務局	<p>戸切地陣屋は国の指定を受けているため、制限はあるが活用することはできる。</p> <p>茂辺地に、茂別館という国指定のものがあり、鮭の民間による養殖が初めて行われたということもあり、観光にも使えるのではないかと考えている。</p> <p>市の中に、隠されたものがあるので、それらを含めてできる限り、観光商品化に結びつけていけるような作業を観光協会と一緒にやっているところ。</p> <p>きじひき高原のロープウェイについても、慎重に考えていかなければならない。</p>

[基本目標3] について

発言者	発言内容
会長	婚姻率について、再度説明願いたい。
事務局	婚姻率は、市に届けられた婚姻届の件数を総人口で除して、1,000人当たりの率に置き換えたものである。
委員	離婚率というものもあるのだろうか。
事務局	離婚率についても同じように計算され、直近では2.44%となっており、全国平均より高い状況である。
委員	人口問題を地方の行政力だけで解決することは難しいのでは。 歯止めをかけるというささやかな力しか発揮できないと考えている。

[基本目標4] について

発言者	発言内容
会長	町内会の加入率は妥当な数値なのだろうか。
委員	<p>生み、育てたいという希望をかなえるという事は非常に大事だが、一番大事なのは、生み育てる親を教育することだ。</p> <p>地域において、大人が子供にはっきり教えることも必要である。</p> <p>また、親を教育していくため、地域のサポートも大事なのでは。</p> <p>そういう話し合いの場を設けることもいいのではないか。</p>
事務局	<p>町内会に入っている戸数として、アパート世帯、若い世代が加入していただけない状況がある。</p> <p>今回の数値は、町内会への加入の有無にかかわらず、広報を配布している戸数をもとに加入率を求めていることから、住民票世帯を基にすると、さらに下がることが見込まれる。</p>
委員	都市交流について、他市と話があれば、ぜひ実現していただきたい。
事務局	<p>現在はやっていないのだが、例えば山梨県に北杜市などがある。</p> <p>色々なつながりを深めて、展開することは可能と考えている。</p> <p>お互いのよさ、経済的効果を産める都市交流をやっていかなければならない。</p>
委員	<p>【他の基本項目も含めて】</p> <p>新規就業者の漁業について、市として新規というのは、どのくらいの収入があることを説明するのか。</p> <p>自分の知り合いは、新しく就業しようとしている人に危険を冒してまでやらせようとしていないという事を聞いている。</p>
事務局	<p>現在、新規漁業への就業者については取り組んでいない。</p> <p>実際に新規で就業した方もいる。</p> <p>これから制度設計の中で、どういう支援ができるのか考えていかなければならない。</p> <p>漁業の場合、どれだけの収入があげられるのかについては、何に手をつけるのかよりかわってくる。</p> <p>初期投資などの経費はおおよそ算定している。</p> <p>今後、基本的な数値についても出しながら、新規の就業者に対して支援をしていかなければならない。</p> <p>茂辺地・石別地区は、基幹産業と言えば漁業になると思うが、30年前の今を比べると、半分以下になっているので、支援という道もあるのだろう。</p> <p>今現実に生計を建てている方の意見を聞きながら、良い提案ができればと考えている。</p> <p>また、地区地区により状況も変わってくると思っている。</p>
委員	<p>住み続けるという事は、そこに経済基盤がなければいけないので、非常に大変なことである。</p> <p>支援があれば、仕事をもって、子どもを育てていけるようになっていく。</p> <p>そういう事が達成できるような行政の力添えが将来非常に大事な要素になっていく。</p>
事務局	お互いの状況に応じた取り組みについては、家族構成により必要となっていくが、ど

	<p>ちらか一方の思いだけでは成立しない。</p> <p>相互の多様性を受け入れる環境作りが必要となってくるという思いである。</p>
事務局	<p>市役所で、農家への職業あっせんを行っている。</p> <p>一昨年までは需要・供給のバランスがとれていたが、昨年度から働きたいという人がいないという状況にあり、求人に対応できていない。</p> <p>生活困窮から脱却し、自立していくという支援が法律に基づき全国で行われている。</p>

【会長／議事まとめ】

今日いただいた意見を、次の案の中に反映させていただきたい。

今日の段階では、示された二次素案を大きく変えるというようなことなどの意見はなかったので、これをもって二次素案として整理したい。

【事務局／その他】

今後の会議のスケジュール・進め方について説明する。

【会長／閉会】

本日の会議を終了する。